



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 日水製薬株式会社

コード番号 4550 URL <http://www.nissui-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 小野 徳哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 谷津 精一

TEL 03-5846-5611

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,772	5.7	414	21.7	1,260	14.1	874	17.4
27年3月期第1四半期	2,623	△16.5	340	△42.4	1,105	22.4	745	31.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	39.06	—
27年3月期第1四半期	33.28	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	33,782	31,028	91.8	1,385.45
27年3月期	34,752	30,990	89.2	1,383.74

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 31,028百万円 27年3月期 30,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,100	5.7	950	6.0	2,000	3.3	1,300	0.1	58.05
通期	12,300	3.7	2,000	4.6	3,900	1.8	2,500	1.2	111.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	22,547,140株	27年3月期	22,547,140株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	151,251株	27年3月期	151,115株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	22,395,951株	27年3月期1Q	22,396,585株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、第二次安倍内閣による経済政策の推進や日本銀行による金融緩和策により企業業績や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

内閣府の消費動向調査(平成27年6月実施調査)に拠れば、消費者意識の指標にも同様の改善が示されているものの、ギリシャ債務問題や中国経済の減速、円安による物価上昇などから、個人の消費支出は根強く慎重な姿勢をみせており、活況を取り戻すにはまだ時間を要する状況が続いております。

当社では、経営方針として、「長期的に持続的成長をする企業」を掲げております。このビジョンの実現に向けて、2014年度を起点とする中期経営計画に基づき、既存事業の育成と新規事業推進による新たな価値の創出を目指しております。さらなる成長及び業績向上を推進すべく、「臨床診断薬」、「産業検査薬」、「医薬」、「化粧品」の各事業内それぞれの成長領域へ集中的に経営資源を分配するとともに、重要課題への取り組みを進めました。

<各事業における共通戦略の推進>

- ・成長分野における新技術開発のための開発的投資(資本参加などのM&A・提携・委託)
- ・事業領域拡大のための戦略的投資(市場開拓・製品及びサービス開発)
- ・事業基盤強化のための積極的投資(業務品質向上への取り組み)

このような状況のもと、当第1四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ1億49百万円(5.7%)増加し、27億72百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同四半期に比べ73百万円(21.7%)増加し4億14百万円、経常利益は投資有価証券売却益の発生などにより前年同四半期に比べ1億55百万円(14.1%)増加し12億60百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ1億29百万円(17.4%)増加し8億74百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各セグメント別の状況は、概ね次のとおりです。

<臨床診断薬事業>

売上高は、前年同四半期に比べ44百万円(3.9%)増加し11億78百万円、営業利益は前年同四半期に比べ7百万円(3.2%)減少し2億33百万円となりました。

当事業においては、「感染症管理や精度管理システムの水準向上に貢献すべく、基幹病院や検査センターで競合他社に勝る存在価値の向上を実現する」との戦略目標を掲げ、当社の強みを前面に押し出した戦略を推進しております。全国規模によるKAM(Key Account Management)の取り組みを展開し、ナショナルセンター・病院、大学機関、検査センターなどにおけるニーズを分析・精査し、CRMに基づいた営業活動を行っております。パートナーシップ強化を目的として5月下旬には、約10年振りとなる全国規模の代理店会を開催いたしました。有力販売代理店と当社の目指す方向性を共有するとともに協力関係を一層強めてまいります。

<産業検査薬事業>

売上高は、前年同四半期に比べ63百万円(9.7%)増加し7億23百万円、営業利益は前年同四半期に比べ11百万円(6.2%)増加し2億1百万円となりました。

当事業においては、「微生物検査や食品安全検査を実施する大手顧客企業の安全管理上の問題を解決する提案活動を通じて、顧客企業の競争力の向上に貢献する企業との評価を確立する」との戦略目標を掲げ、微生物検査のパイオニアとしての存在価値の向上を図っております。DAC(Domestic Affiliated Company)プロジェクトチームを発足し、日本水産株式会社グループや大規模グループ企業への提案営業に着手いたしました。今後の拡売に向けグループ連携を推し進めております。昨年9月に北米地域での販売契約を締結したHardy Diagnostics社(本社:カリフォルニア州サンタマリア)とは、菌数測定用簡易培地コンパクトドライの拡売に向けて、実務レベルでの協議を継続的に行っております。

<医薬事業>

売上高は、前年同四半期に比べ12百万円(1.9%)増加し6億64百万円、営業利益は前年同四半期に比べ79百万円(129.3%)増加し1億40百万円となりました。

当事業においては、直販営業ルートの強化に向けて専売品の二次元バーコード対応を順次開始し、製品情報の提供による販売店の推奨サポートを行っております。プロダクト別プロモーター制によるOTC医薬品・健康食品群の主力製品の販売強化に向けて対応しております。平成27年4月より施行された「機能性表示食品制度」への取り組みも順次進めており、臨床試験または研究レビューなどの科学的根拠を基とした機能性成分の“健康効果”の表示を製品パッケージに記載するように動いております。

<化粧品事業>

売上高は、前年同四半期に比べ28百万円(16.0%)増加し2億5百万円、営業利益は前年同四半期に比べ16百万円(49.8%)増加し48百万円となりました。

当事業においては、海洋資源由来の天然素材を用いたスキンケア製品等の開発を推進し、敏感肌向け化粧品としてのブランド再建を目指しております。ニッセイグループが長い時間をかけて学んできた海の恵みのすばらしさを健康食品などとして提供している日本水産株式会社と化粧品におけるコラボレーションを推進し、新規ユーザー獲得へのアプローチを図っております。

なお、上記は各事業に配賦できない支援部門に係る費用等2億10百万円が控除されております。

<研究及び開発関連>

将来性のある基盤技術獲得のためのオープンイノベーション推進と再生医療分野における新規事業化への探索・獲得を専門的に推進する「先端技術研究部」及び「事業企画推進室」にて、外部企業との連携や大学・企業との共同研究に向け深耕しております。産業検査薬事業での海外戦略で重要となる細菌検査法の国際基準化へ向け、AOAC International における認証も個別製品に拠っては最終フェーズを迎えており、菌数測定用簡易培地コンパクトドライ群の海外展開を強力に後押しする材料となる見込みです。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ9億70百万円減少し337億82百万円となりました。主な増加は現金及び預金29億25百万円によるもので、主な減少は関係会社預け金16億95百万円、投資有価証券15億78百万円によるものです。

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ10億8百万円減少し27億54百万円となりました。主な減少は未払法人税等2億95百万円、賞与引当金1億54百万円、流動負債のその他(未払金2億84百万円)、固定負債のその他(繰延税金負債1億58百万円)によるものです。

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ38百万円増加し310億28百万円となりました。

この結果、自己資本比率は91.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点では平成27年5月8日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,045	5,970
受取手形及び売掛金	3,048	2,750
有価証券	300	—
商品及び製品	1,588	1,566
仕掛品	378	393
原材料及び貯蔵品	704	768
繰延税金資産	199	115
関係会社預け金	4,819	3,124
その他	117	128
貸倒引当金	△34	△31
流動資産合計	14,169	14,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,943	1,930
機械装置及び運搬具(純額)	287	266
土地	2,770	2,770
建設仮勘定	131	145
その他(純額)	65	76
有形固定資産合計	5,198	5,189
無形固定資産		
ソフトウェア	17	14
その他	12	12
無形固定資産合計	30	27
投資その他の資産		
投資有価証券	15,156	13,578
その他	247	247
貸倒引当金	△50	△47
投資その他の資産合計	15,353	13,778
固定資産合計	20,582	18,995
資産合計	34,752	33,782

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,258	1,178
未払法人税等	492	197
賞与引当金	201	46
役員賞与引当金	19	9
歩戻引当金	9	20
その他	1,189	870
流動負債合計	3,173	2,322
固定負債		
退職給付引当金	2	2
その他	586	428
固定負債合計	589	431
負債合計	3,762	2,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	20,661	21,065
自己株式	△98	△98
株主資本合計	30,391	30,795
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	599	233
評価・換算差額等合計	599	233
純資産合計	30,990	31,028
負債純資産合計	34,752	33,782

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,623	2,772
売上原価	1,311	1,347
売上総利益	1,312	1,425
販売費及び一般管理費	971	1,010
営業利益	340	414
営業外収益		
受取利息	17	14
受取配当金	58	67
為替差益	0	—
投資有価証券売却益	664	740
デリバティブ評価益	1	13
その他	22	11
営業外収益合計	764	847
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	1
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	1,105	1,260
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	6	2
投資有価証券評価損	21	30
特別損失合計	27	33
税引前四半期純利益	1,077	1,227
法人税、住民税及び事業税	211	268
法人税等調整額	120	84
法人税等合計	332	352
四半期純利益	745	874

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 前第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	臨床診断薬事業	産業検査薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,134	659	652	177	2,623
セグメント利益	241	190	61	32	525

b. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	525
全社費用(注)	△184
四半期損益計算書の営業利益	340

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

② 当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	臨床診断薬事業	産業検査薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,178	723	664	205	2,772
セグメント利益	233	201	140	48	625

b. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	625
全社費用(注)	△210
四半期損益計算書の営業利益	414

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。